ユーラ　ENA4-CAS　ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。
また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 設置の前に
設置する前に本マニュアルを一通りお読みください。

2. 設置場所
本機の電源は 100V/1200W です。電気容量の大きな製品（電子レンジ、炊飯器、電気ポット、ロースターなど）と併用されると正常に動作しない場合がありますのでお避けください。水のかかる場所や湿気、ほこりの多い場所もお避けください。電子レンジやガスレンジなど熱を発生する製品からは遠ざけてください。水平で平らな場所に設置ください。

3. メンテナンス
メンテナンス (洗浄・フィルター交換 /CA 除去）のサインがでまし必ず本マニュアルに従って作業を行ってください。必要な洗剤類・フィルターは必ず販売店指定の専用品をご使用ください。
食洗機のご使用はお避けください。部品の脱落や変形、不具合の原因となります。いかなる部品もお手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

4. 保証書
故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合
故障の場合は株式会社コントラスト 03-3783-8899（TEL）または info@contrasto.jp にご連絡ください。

ユーラ・エナ 4　コントラストアロマスペシャル

Jura ENA4- CAS 取扱いマニュアル

p.01 : ご使用に際して
p.02 : 安全にお使いになるために
p.03 : 製品保証書
p.04 : 各部名称
p.05 : はじめてご使用になる際（セットアップ / 水の硬度設定）
p.06 : 基本操作（ コーヒーの抽出・毎日のお手入れ）
p.07 : 応用操作（2 杯取・粉コーヒーの抽出・挽目調整・オフタイマー）
p.08 : フィルター交換
p.09 : マシン洗浄
p.10 : CA 除去
p.11 : こんなときは（マークの意味と対処法）
p.12 : トラブルシューティング

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ **警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為**
⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

●コンセントは、100V（ﾎﾞﾙﾄ）で機械一台あたり 15A(ｱﾝﾍﾟｱ）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ / コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたりコードを傷つけたときは販売店に連絡し、修理を依頼してください。お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は､販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ **警告：アース線について**

●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています。接地つきコンセントの場合はアダプタを使用せず直接さしこみます。接地なしのコンセントの場合はアダプタ付属のアース線からアースをとってください。**
●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。
アース線は次の場所に接続しないでください。①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください。

⚠ **設置環境について**

●水のかかる場所や湿気の多い場所でのご使用は漏電や感電の原因となります。お止め下さい。
●外装はプラスチックですので高温になる場所への設置はお止めください。
●ホコリの多い場所への設置は火災の原因となりますのでお止め下さい。
●不安定な場所や水平でない場所への設置は落下などの危険が伴いますのでお止め下さい。
●小さいお子様の操作は大変危険ですのでお子様の手の届かない場所へ設置して下さい。
●周辺温度が 30℃以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ **警告：トラブルがあったときの処置**

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると**火傷や感電により死に至る**恐れがあります。
●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

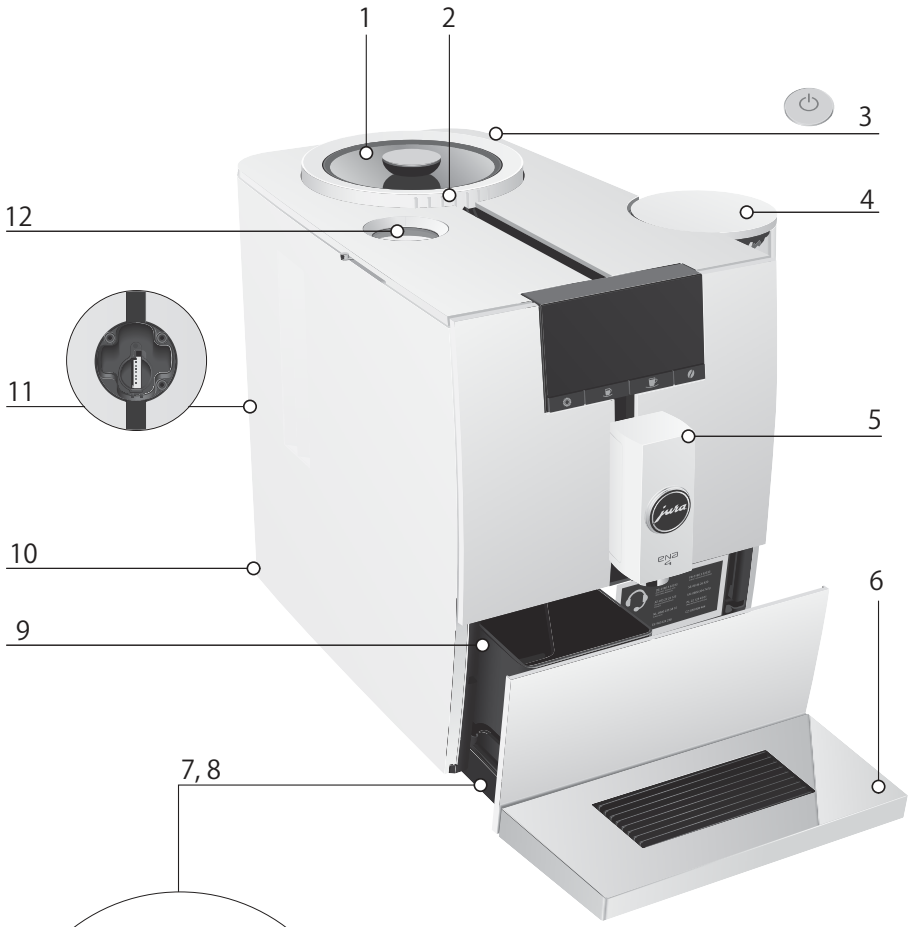
●定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

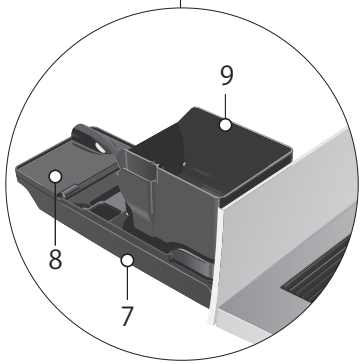
⚠ 注意：通電について

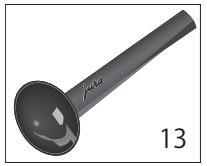
●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

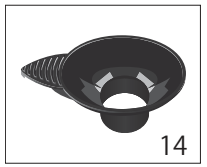
Contrasto 株式会社コントラスト
東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒 142-0041)
TEL03-3783-8899　FAX03-3783-6589
e-mail : info@contrasto.jp

▶各部名称









【同梱品】

クラリススマートミニ (試供品)
クラリス用エクステンション
粉コーヒー計量スプーン
粉コーヒー充填ロート
硬度試験紙
洗浄剤試供品
変換プラグ

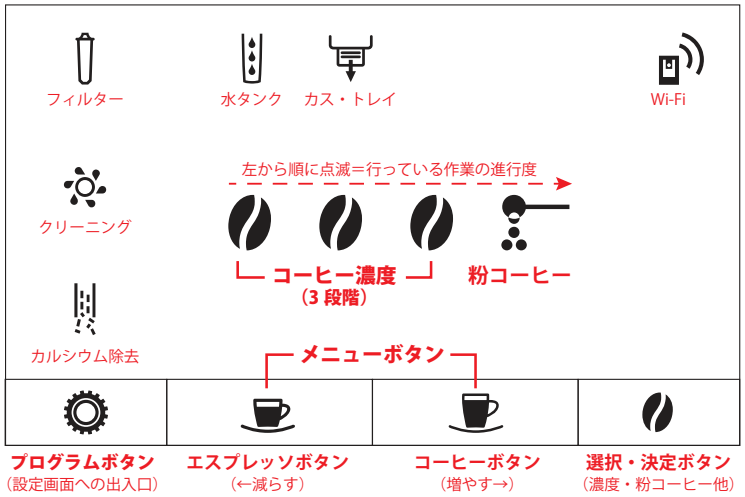
1 ：コーヒー豆コンテナ / アロマ保存カバー
2 ：挽目ダイヤル（7 段階）
3 ：電源 ON/OFF ボタン
4 ：水タンク（水タンクフタ）
5 ：コーヒー抽出口（高さ調節可能）
6 ：カップグリル
7 ：排水トレイ
8 ：排水トレイカバー
9 ：カス容器
10 ：電源ケーブル（マシン背面）
11 ：Wi-Fi/ スマートコネクト（* 別売品）挿込口
12 ：洗浄タブレット / 粉コーヒー投入口
13 ：粉コーヒー用計量スプーン
14 ：粉コーヒー充填ロート

【メンテナンス用品（別売）】
本機ご使用にあたり必要になる
専用メンテナンス用品です
販売店にてお求めください。

Jura 洗浄タブレット

Jura クラリススマート
浄水フィルター

【操作パネル部マーク】



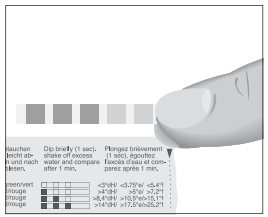
▶はじめてご使用になる際（セットアップ・水の硬度設定）

前提条件

※電源コンセントが近くにある場所に設置してください。消費電力が高いため他の機器との電源併用はお避け下さい。延長タップ等は使用できません。
※電源ケーブルに損傷または欠陥がある場合は絶対に使用せず、販売店へご連絡下さい。致命的な危険のある感電の可能性があります。
※耐水性があり水平・平滑・頑丈な場所に設置して下さい。
※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保して下さい。（変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります）
※布や食器で換気口を覆わないで下さい。

水の硬度を調べる

はじめに、本機で実際にご使用される水の硬度を調べておきます。



1. 同梱の硬度試験紙 AquadurR を水道からの流水に約 1 秒さらした後、水を振り払い、約 1 分間待ちます。
2. AquadurR 試験紙のグリーンの印刷色が硬度によってベージュに変色して行きます。下の表に照らし合わせてお使いの水道水の硬度をご確認ください。

※マシンの耐久性を維持するための大事な設定です。

【硬度目安】	【結果】	【ENA4-CAS での設定】
1-5° dH		
6-10° dH 11-15° dH		
16-20° dH		
25-30° dH		

フィルターの用意

同梱のクラリスフィルターミニ (試供品）とフィルターエクステンションをお手元にご用意ください。

①豆ケースに豆を入れる

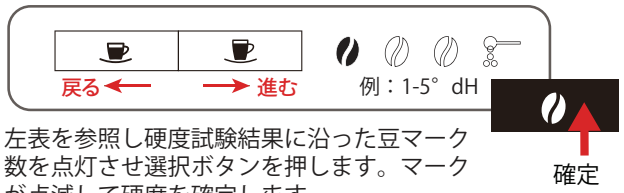
アロマ保存カバーを取り外します。
豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

ご注意

※冷蔵庫・冷凍庫で保管している豆は常温に戻してご使用ください。
※添加剤（例えば糖やフレーバー）で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。豆コンテナには無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
※豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意下さい。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

②電源を入れる

マシン上部の電源ボタンを入れるとパネル中央の豆マークが点灯します。先に調べておいた水の硬度をここで設定します。



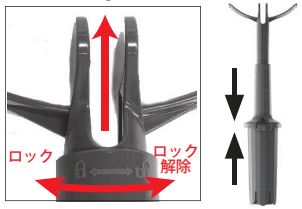
左表を参照し硬度試験結果に沿った豆マーク数を点灯させ選択ボタンを押します。マークが点滅して硬度を確定します。

フィルターと水タンクのマークが点灯します。
水タンクをマシンから取り外します。

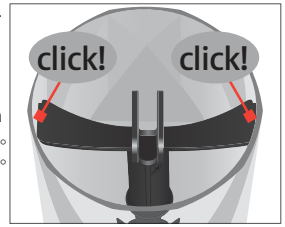
※水タンクを本体から外す事でマシンが手順を認識しているため必ず取り外してから次の作業を行ってください。

③フィルターのセット

右図を参照しフィルターエクステンションの軸を最大限に延ばして、同梱のクラリスフィルターミニを取り付けます。



フィルターを水タンクに挿し込みます。エクステンションの両翼を少し押し下げて水タンク上部の溝に固定します。



※クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発された Jura コーヒーマシン専用浄水フィルターです。初回セットアップに必ず必要となります。同梱の試供品 (ミニサイズ）ご使用以降の交換品はクラリススマートをお使いください。（→P08)

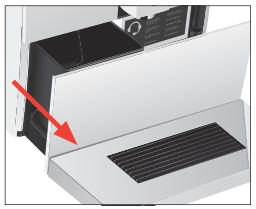
④水タンクに水を入れる

ご注意

※発泡水やミネラルウォーター、お湯などはマシン本体に損傷を与えたり設定した味を保てなくなります。必ず毎日汲み直した新鮮な水をご使用ください。
※水タンクはセットする際に、タンク下にコーヒー豆などの異物が落ちていないか確認します。またセットする際は本体にまっすぐ差し込みます。

フィルターを装着した水タンクを新鮮な水で満たしてフタをします。抽出口の下に排水受を用意し、水タンクを本体に戻します。マシン内部をすすぎの水が通り、排水受とトレイに排出されます。

水の流れが完全に止まったら、抽出口を上にあげて排水トレイとカス容器を引き出し、中を空にしてマシンに戻します。



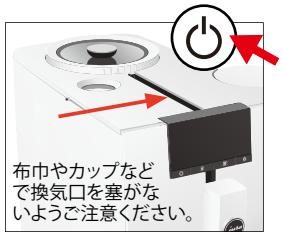
豆マークが点灯
ご使用の準備が整いました

セットアップ終了後はオフタイマー（→P.07) の確認をお勧めします。（初期設定：30 分の未使用で電源自動オフ）

▶基本操作・コーヒーの抽出・毎日のお手入れ

◆電源ON/OFF

電源を入れると操作パネル中央のマークが左から順に点滅します。点滅が終了し豆マークが点灯に変わったらスタンバイ状態です。



※点灯している豆の数は前回抽出のコーヒー濃度(挽豆量)を表しています。
※電源ON/OFF時には抽出口からすすぎの水が排出されますので排水受を用意します。(OFF直後にまた電源をONした際や、一度も抽出がなかった時のOFF時にはリンスは行われません。)

◆コーヒーの抽出

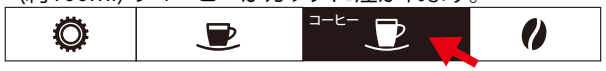
前提条件

○操作パネル中央の豆マークが点灯している。
※点灯している豆の数は前回抽出のコーヒー濃度(挽豆量)を表しています。
○水、コーヒー豆がマシンに充分セットされている。
○カップを中央に置き抽出口の高さを調整する。

例:コーヒー(ノーマル)の抽出

①豆マークが２つ点灯するまで選択ボタンを数回押します。

③コーヒーボタンを押すと抽出がはじまり、初期設定量(約100ml)のコーヒーがカップに注がれます。



※抽出中は指定した濃さの豆マークが一定の間隔で点滅します。
※途中で抽出を止めたい時は再度ボタンを押してください(どのボタンでも可)
※エスプレッソの場合も手順は同様です。
※豆マークの点滅が終わったら次の抽出が行えます。
※最後の抽出から時間が経過すると自動的に省エネモードに入り、次に抽出操作をするとマシンを加温してから抽出動作に入りますのでそのままお待ちください。(加温中は全マークが点滅)

ご注意

※途中で豆が不足しても抽出を続けてしまいます。コンテナに豆が充分に入っているか確認してからボタンを押すようにしてください。
※冷たい陶磁器のカップはコーヒーの温度を極端に低下させ味に影響を与えます。陶磁器のカップご使用の際は肉厚のものをお湯などでよく温めてからご使用ください。

◆濃度(挽豆量)の変更

抽出ボタンを押したあとでもグラインダー動作中であれば濃度の変更ができます。

左記②を参照し、挽豆の音がしている間にコーヒー濃度ボタンを押してお好みの濃さをご指定ください。

◆抽出量の変更

よくお使いになるカップのサイズにあわせて抽出量を変更することができます。

例:エスプレッソ抽出量の設定

①抽出口の下にエスプレッソカップを置き、エスプレッソボタンを約2秒、長押しします。

②エスプレッソの抽出が始まります。(※量変更設定中の抽出時は豆マークが左から右へ順番に点灯)
カップに対して程よい量のところまできたら再度ボタンを押します。(どのボタンでも可)

③豆マークが点滅し、抽出量設定を記憶します。点滅が終了したら再び使用可能な状態に戻ります。

※次に同じ作業をするまでこの抽出量の設定が保持されます。
※コーヒーの場合も手順は同様です。

◆よく出るマークの意味と操作

ご使用中に以下のマークが点灯した際に行う作業です。

水タンクに水が不足、または正しくセットされていません。
→水タンクに水を満たし再度セットします。

豆コンテナが空です。**→豆を補充します。**
※表示時間が短いので見逃さないようご注意ください。
※豆があるのに表示される場合→(P.11 こんなときは)

カス容器が満杯です。
→抽出口を上に上げ、カス容器と排水トレイを手前に引き出し、**中の排水とカスを空にして再度セットします。**
※トレイを戻すのが早すぎると表示が消えない事がありますので10秒ほど置いてからセットします。
※電源が入っていない時にカスを捨てるとカウンターと誤差が生じるため、カス捨てはなるべく表示が出たタイミングで行ってください。

カス容器または排水トレイが正しくセットされていません。
→カス容器と排水トレイを入れなおします。

加熱中です。
→しばらくお待ちください。

※その他のマークについてはP11「こんなときは」をご参照ください。

毎日必須 ◆ご使用後のお手入れ

○排水トレイとカス容器を空にする際は中性洗剤できれいに洗いましょう。部品は全て**食洗器非対応です。**

○ご使用後に残った水タンクの水は捨て、きれいな水ですすぎます。水は毎日必ずとりかえましょう。

※マシンの表面は固く絞った清潔な柔らかい布(マイクロファイバー等)で水拭きします。
※豆コンテナを清掃したい場合は必ず電源を切り、プラグを抜いた状態で行います。アロマ保存カバーを外し、内部に残ったコーヒー豆を掃除機で吸い取ります。柔らかい乾いた清潔な布でコンテナ内をから拭きしてください。
!注意:水気厳禁!コンテナの下にグラインダーの刃があります。

▶応用操作(2 杯取・粉コーヒーの抽出)・設定変更(挽目調整・オフタイマー)

◆2杯取コーヒーの抽出

メニューボタンを続けて2回押すことで連続で2杯の抽出動作が行われます。(2サイクル)

前提条件

○操作パネル中央の豆マークが点灯している。
○水、コーヒー豆がマシンにセットされている。
○カップを2つ用意。一つ目をセットし抽出口の高さを調整。

例:エスプレッソ2杯取

①前頁コーヒーの抽出を参照しお好みの濃さを設定します。
②エスプレッソボタンを続けて2回押します(2秒以内)

③1杯目の抽出がおわったら2つめのカップをセットします。
続けて2杯目が抽出されます。

※2杯取抽出中は指定した濃さの豆マークが長短の間隔で点滅します。
※2杯とも同じ設定で抽出されます。
※途中で抽出を止めたい時は再度ボタンを押してください(どのボタンでも可)
※コーヒーの場合も手順は同様です。

◆粉コーヒーの抽出

本機は粉コーヒー(挽豆)での抽出も可能です。例えばカフェインレスのコーヒーやいつもと違うコーヒーをお試しになりたいとき、粉状のコーヒーをご用意頂ければ抽出ができます。

前提条件

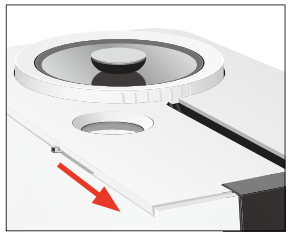
○付属の粉コーヒー用計量スプーンと充填ロートを用意。
○操作パネル中央の豆マークが点灯している。
○水がマシンにセットされている。
○カップを中央に置き抽出口の高さを調整する。

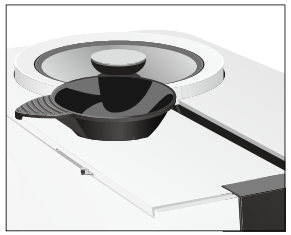
ご注意

※中細挽きの粉をご利用ください。挽目の細かすぎる粉は目詰まりを起こし、コーヒーが排水トレイに流れ出てしまいます。
※粉コーヒーは抽出の都度粉を投入します。粉をためておく事はできません。
※インスタントコーヒーはご使用になれません。

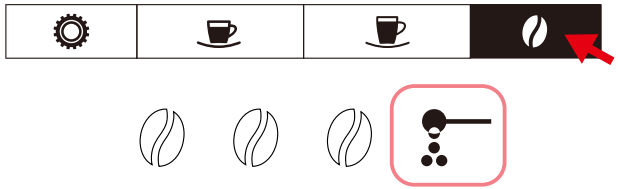
例:粉コーヒーの抽出

①マシン天面左側にある丸いつまみを手前にひき粉コーヒー投入口を開き、充填ロートをセットします。





②選択ボタンを複数回押し、粉コーヒーマークを点灯させます。



③付属の計量スプーン1杯分の粉コーヒーをロートから投入します。
※すりきり1杯が上限です。
それ以上の粉は入れないで下さい

④ロートを外し粉コーヒー投入口を閉じます。
⑤メニューボタン(コーヒーまたはエスプレッソ)を押します。

粉コーヒーマークが点滅し規定量のコーヒーが抽出されます。途中で止めたい場合は再度ボタンを押してください。(どのボタンでも可)

ご注意

※粉の充填量が少なすぎると抽出動作が行われず、粉がカス容器に廃棄されてしまいます。少なくとも付属スプーン1/2杯以上の量をおすすめします。
※コーヒー粉投入後はなるべく早めに抽出ボタンを押してください。
※粉コーヒー抽出後、グラインダーでの挽豆抽出に戻す場合はまた選択ボタンを押し豆の濃度指定から始めていただく必要があります。

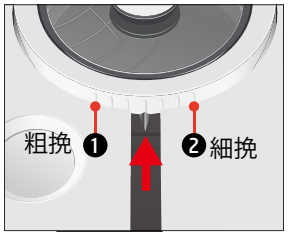
◆挽目(グラインダー)の調整

お使いの豆にあわせて挽目を調整することができます。豆の種類や焙煎度によって最適な挽目は異なります。コーヒーが途切れなく抽出される状態が焙煎と挽目が合っているひとつの目安となります。

ご注意

※調整は必ずグラインダーが回転している(豆を挽いている)間に行います。回転していない状態で行うと刃が破損するおそれがあります。
※一度設定した挽目は次に調整するまで固定です。コーヒー濃度毎やカップサイズごとに挽目を変えることはできませんので一番良くお飲みになるメニューで調整することをお勧めします。

①抽出口の下にカップを置き、コーヒーまたはエスプレッソボタンを押します。
②グラインダーの回転音がしている間に豆コンテナ周囲の調整リングを回し、目盛を中央の印に合わせます。(7段階)

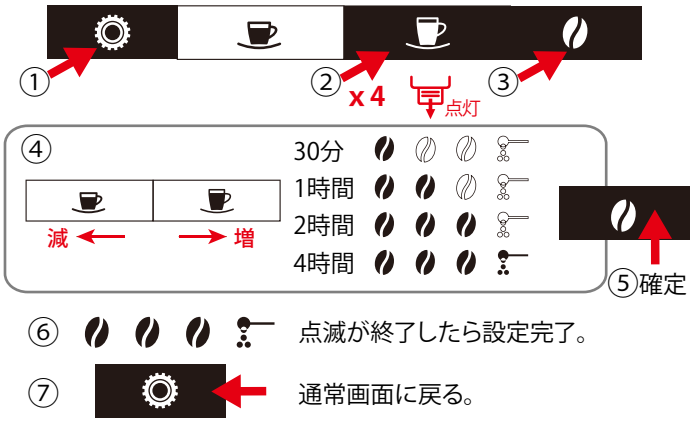


③これまでの挽きが残っている可能性があるため2杯目から試飲し、味、クレマの量、色目などを確認します。ご希望の味になるまでこの作業を繰り返します。

◆オフタイマー

最後の抽出から一定時間が経過すると自動的に電源がオフになる機能です。初期設定:30分→最長4時間

オフタイマー変更方法



⑥ 点滅が終了したら設定完了。
⑦ 通常画面に戻る。

▶フィルター交換

表示が出たら または **取付後 60 日** 約 2 分

必要なもの

クラリススマート
浄水フィルター

×1 本

※ご購入時に同梱の「クラリススマートミニ」は試供品です。

クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発された Jura コーヒーマシン専用浄水フィルターです。

※フィルター交換はおよそ 2 分かかります。
※フィルター交換は中断しないでください。
※フィルターはマシン販売店からご購入ください。
※販売店指定の浄水フィルターをご使用ください。指定以外のフィルターはご使用になれません。

フィルター交換の表示（マークが赤くなる）が出ていてもメニューの抽出はできますが、浄水能力のない状態でのご使用はマシン内部部品を傷めますのでなるべく早く交換をして下さい。
※交換のサインが出ていなくても 60 日が経過したら交換をして下さい

交換時期

フィルターマークが点灯
または
フィルターをセットしてから
60 日が経過している。

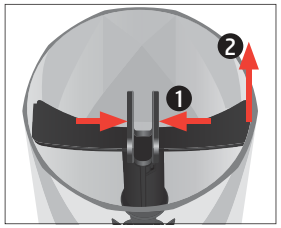
◆フィルター交換

ご注意

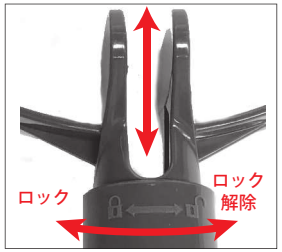
※フィルターの取り外し・取り付けは必ず水タンクを本体から外した状態でおこないます。（水タンクをマシンにセットしたまま行うと認識されません。）

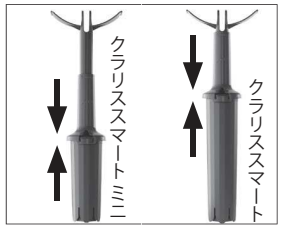
手順

① 水タンクを取り外して中の水を捨てます。
❶フィルターエクステンションの中央をつまみ、真下に押し込むようにしながら❷反時計周りに回転してひきあげ、フィルターをとり外します。

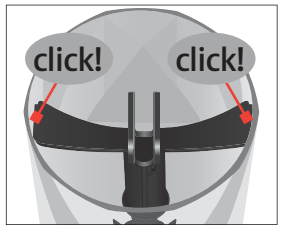


② 新しいフィルターにエクステンションを取り付けます。試供品（ミニ）からクラリススマートに変更の場合は右図を参照しエクステンションの軸の長さを縮めます。





③ フィルターを水タンクに挿し込みます。エクステンションの両翼を少し押し下げてタンク上部の溝に固定します。



④ 水タンクに水を満たして本体に戻すとマシンが自動的に新フィルターを検出、すすぎを始めます。

すすぎが終了し、フィルターマークが消えたら交換完了です。

ご注意

フィルター交換の表示が出てから、**交換作業をせずにご使用水量が 10 ℓ を超えると自動的に CA(カルシウム）除去の設定に変わります。**そのままご使用を続け、CA 除去サインが出た場合は **CA 除去作業を行わないとフィルター設定に戻すことができません。**

サインが出ていてもコーヒー類の抽出はできますが、その他の作業（洗浄等）ができなくなります。早めに CA 除去を行ってください。（→P.10）

CA除去には専用のカルシウム除去剤が必要となります。販売店にてお求めください。

▶マシン洗浄 表示が出たら 約 20 分

必要なもの

洗浄タブレット

×1錠

※水タンクに満量の水

180 杯の抽出または 80 回のスイッチオンで洗浄を促すサインが点灯します。

汚れによるトラブル・故障を防ぐためクリーニングのマークが出たら必ず専用タブレットを使用した洗浄を行ってください。またはマークが出ていなくても月に 1 回程度のペースで洗浄を行うことをおすすめします。(ページ右下：任意ではじめる場合)

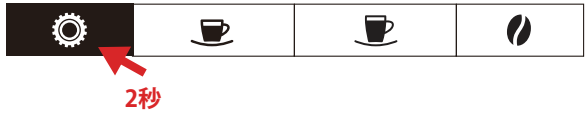
ご注意

※マシン洗浄はおよそ２０分かかります。
※マシン洗浄は中断しないでください。
洗剤分が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。

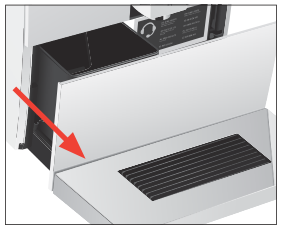
※販売店指定の洗浄タブレットをご使用ください。指定以外のものを使用すると保証が受けられません。
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。
※いかなる部品も食器洗浄機はご使用にならないでください。ゆがみや破損の原因となります。

手順

① クリーニングのマークが点灯している状態でプログラムボタンを長押し（2 秒）



② カス・トレイマークが点灯



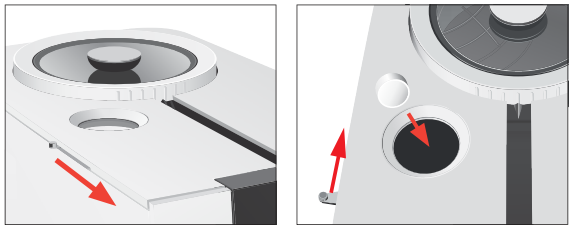
抽出口を上に上げ排水トレイとカス容器を引き出し、中を空にしてマシンに戻します。
(戻すまでに 10 秒以上間隔をあけてください)

③ 抽出口の下に排水受を用意し、選択ボタンを押します。

④ マシン洗浄スタート。抽出口から排水がでます。

⑤ 動作が中断し粉コーヒーマークが点灯。

⑥ マシン天面左側にある丸いつまみを手前にひいて投入口を開き、洗浄タブレットを1錠入れて閉じます。



⑦ 選択ボタンを押します。

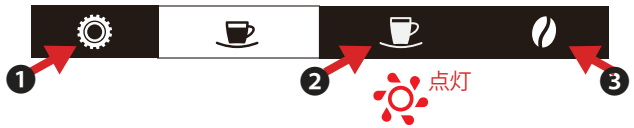
約10分

⑧ マシン洗浄中。抽出口から断続的に排水が出ます。

⑨ カス・トレイマークが点灯
排水トレイとカス容器を引き出し、中性洗剤を使用して洗い、マシンに戻します。

⑩ マークの点滅が終了したら洗浄完了です。

任意ではじめる場合



サインが出ていなくてもお好きなタイミングで洗浄を始められます。
上記❶～❸のあと手順②にとんでください。

▶CA 除去(カルシウム除去)

表示が出たら

約 45 分

jura

必要なもの

CA 除去剤 ×3 錠

水 ×500ml（正確に計る）

すすぎ水 ×水タンクに満量

ご使用する水に含まれるカルシウム成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的にカルシウム除去洗浄時期をお知らせします。通常クラリスフィルターをご使用の場合は表示されませんが

フィルター交換の表示が出てから、**交換作業をせずにご使用水量が 10ℓを超えると自動的に CA(カルシウム）除去の設定に変わります。**そのままご使用を続けると CA 除去サインが表示され **CA 除去作業を行わないとフィルター設定に戻すことができません**

※CA 除去はおよそ 45 分かかります。
※CA 除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。
※専用除去剤はマシン販売店からご購入ください。

ご注意

※販売店指定のカルシウム除去剤（安全データシートあり）をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、残留物が飲料に混入する恐れやマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。
※カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。
※カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石、金属に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

警告

カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。
目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

ご注意

カルシウム除去のマーク・フィルターマークの２つが点灯している場合は P08①を参照し、水タンク内のフィルターを取り外します。
(フィルターを外さないと作業がすすみません)

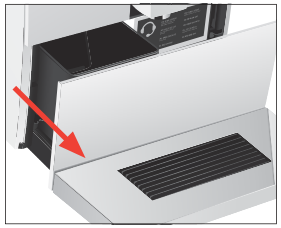
手順

① カルシウム(以下 CA)除去のマークが点灯している状態でプログラムボタンを長押し(2 秒)

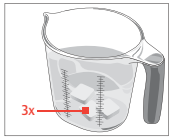
2秒

② 粉コーヒーのマークが点灯

排水トレイとカス容器を引き出し、中を空にしてマシンに戻します。(戻すまでに 10 秒以上間隔をあけてください)



③ 点滅



水タンクをマシンから取り外し、中の水を捨てて空にします。
正確に計った 500ml の水に CA 除去剤 3 錠を溶かします。空の水タンクにこの溶液を注ぎ、マシンにセットします。

④ 点滅

選択ボタンを押します。
CA 除去作業が始まり断続的に排水がでます。

⑤ 動作が中断しカス・トレイマークが点灯。排水トレイとカス容器を空にしてマシンに戻します。

⑥ 水タンクマークが点灯
ここからすすぎに入ります。水タンクをマシンから外し、除去剤成分が残らないよう充分にすすいでください。
水タンクに水を満たしマシンに戻します。

⑦ 点滅

選択ボタンを押します。
すすぎの作業が始まり断続的に排水がでます。

⑧ 動作が中断しカス・トレイマークが点灯。排水トレイとカス容器を空にしてマシンに戻します。

⑨ マークの点滅が終了したらCA除去完了です。

任意ではじめる場合

❶ 点灯 ❷

サインが出ていなくてもお好きなタイミングでCA除去を始められます。上記❶〜❷のあと手順②にとんでください。

▶こんなときは(マークの意味と対処法)

水タンクに水が不足、または正しくセットされていません。(抽出不可)
→水タンクに水を満たし再度セットします。

豆ケースが空です。(抽出不可)**→豆を補充します。**
※豆が入っているのにこのサインが出る場合、コンテナ内のフィンガーガードにひっかかって豆の流れが止まっている可能性があります。安全のため電源を切ってから金属製のスプーン等で豆を下方に流し込んでみてください。

カス容器(排水トレイ)が満杯です。(抽出不可)
→抽出口を上に上げ、カス容器と排水トレイを手前に引き出し、**排水とカスを空にして再度セットします。※カスだけでなくトレイ内排水も必ず同時に空にしてください**
※トレイを戻すのが早すぎると表示が消えない事がありますので10秒ほど置いてからセットします。
※電源が入っていない時にカスを捨てるとカウンターと誤差が生じるため、カス捨てはなるべく表示が出たタイミングで行ってください。

カス容器または排水トレイが正しくセットされていません。(抽出不可)
→カス容器と排水トレイを入れなおします。

加熱中です。**→点滅が終わるまでしばらくお待ちください**

粉コーヒーの抽出中です。
※点滅が終わってもコーヒーが抽出されない場合:
粉の充填量不足が原因で抽出がキャンセルされました。少なくとも付属の計量スプーン1/2杯以上の量で再度お試しください。(上限すりきり1杯)→P.07

フィルター交換時期です。
→P.08を参照しフィルター交換を行います。
※CA除去作業後にフィルターが装着されない時もこのマークが点灯します。
P.08を参照しフィルターをセットしてください。

マシン洗浄(クリーニング)が必要です。
→P.09を参照しマシンの洗浄(クリーニング)を行います。

CA(カルシウム)除去作業が必要です。
→P.10を参照しCA除去作業を行います。

フィルターが装着されていてCA除去作業ができません。
→P.08①を参照しフィルター取り外し後P.10CA除去作業を行います。

(フィルター/カルシウム除去いずれかのマークが点灯、他方が点滅)
マシンが冷えすぎており、起動できません(自動電源OFF)
→暖かな室内にしばらく置いてから再度電源を投入します。

FILL SYSTEM(マシン内へ水の供給がありません)(抽出不可)
→水タンクに水を満たし、選択ボタンを押します。

▶トラブルシューティング

トラブル	原因及び結果	解決方法
コーヒーが抽出されず排水トレイに流れ出てしまう。	コーヒー豆の挽きが細かすぎて内部のフィルターが目詰まりを起こしています。	挽目を粗くしてください。→P.08挽目(グラインダー)の調整 粉コーヒーの場合はより粗い挽目のものをご使用ください。
	コーヒー抽出ユニットのパッキン不良	修理が必要です。販売店にご連絡ください。
コーヒーの出が悪い。	コーヒー豆の挽きが細かすぎる可能性があります。	挽目を粗くしてください。→P.08挽目(グラインダー)の調整
	水タンクと本体接続部に異物がありマシンへの水の流れが滞っている可能性があります。	異物があれば取り除いてください。
カス捨て表示の出るタイミングがおかしい。 カスを捨てても表示が消えない。	電源をオフにしてからカスを捨てている。 カス捨て後、排水トレイとカス容器を戻すのが早い。	カス捨てはマシンの電源が入っている時に行ってください。 排水トレイとカス容器を外してから本体に戻すまで10秒ほど時間をあけてください。
グラインダーの動作音が大きくなる。 または異音がする	グラインダー内に異物が混入しています。	販売店にご連絡ください。

エラー表示： 下記のマークが点灯後、電源が自動的に切れる→販売代理店にご連絡ください。(どのマークが点灯したかをお知らせください)

エラー1 (コーヒー温度センサー)

エラー2 (コーヒー温度センサー)

エラー5 (加熱不良)

エラー23 (コントローラータイムアウト)

エラー8 (ユニット位置不良)

エラー10 (過加熱)

エラー22 (クラリスフィルター通信不具合)